第20回 VHO-netワークショップ
趣旨説明

日本ALS協会沖縄県支部
（ワークショップ準備委員）
田港　華子

今年のテーマについて

VHO-netが取り組むSDGｓ　～未来に向けて

テーマ決定までの準備委員会での議論

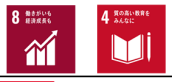
- 第２０回という節目のワークショップ
- ヘルスケア関連団体の２０３０年のあるべき姿に向けて、持続可能な発展目標を共有し
- 自分の団体に必要な具体的な行動変容に活かす

引用：
国際連合広報局HP

VHO-net × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

誰一人取り残さない

２０３０年をターゲットにした７つの目標

VHO－netの長期的な目標	重点課題	SDG s
１．ピアサポートの確立	ピアサポートの充実	
２．社会との協働	社会、地域とのつながり	
３．医療に参画する	研究調査への協力	
４．行動基準を守る	信頼される団体をめざす	
５．災害から命を守る	災害時の対策	
６．多様な人材の確保と人材育成	資金調達の充実・人材育成	
７．ダイバーシティ＆ インクルージョンの取組み	性別、年齢、地域、国籍、疾病障害の有無、職種、経済状況等	

1 ピアサポートの確立

ピアサポートの充実

- ピアサポートを体系的に学べる場が少ない
- 学べる場はあっても、初級レベルで、質にばらつきがある
- 事例を集めたデータの分析がされていない

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

2 社会との協働

社会、地域とのつながり

- 自分たちの団体だけで活動しているだけでは不十分
- 自治体との協働や専門家集団との関わりが必要

行政 → 市民 → 市民団体 → 民間企業 → 大学

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

3 医療に参画する

研究調査への協力

- 医療や医薬品の開発に関して、患者の立場として、医療に参画する機会がまだ少ない
- PPIを学習する機会がほとんどない
- 医療や治験に患者が参画する意義を考えたり、参画した事例を共有したりするために、必要な知識や行動を学ぶ必要がある

4 行動基準を守る

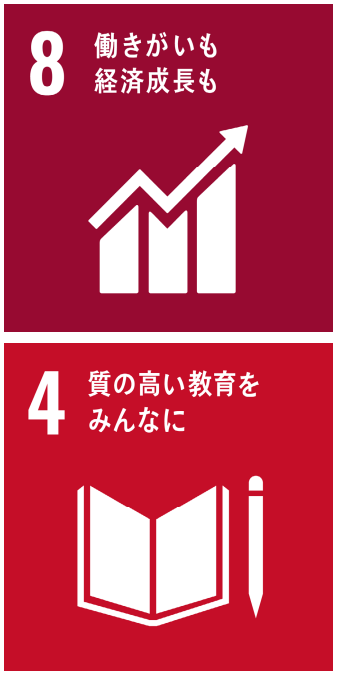
信頼される団体をめざす

- 団体の組織運営で「行動基準」を策定していない状況がある
- 健全な組織運営のためには、団体の理念や行動指針をもとに「行動基準」が必要
- 団体の透明性（事業報告・会計報告・役員一覧等）を示すことが必要

5 災害から命を守る

災害時の対策

- 自然災害や、パンデミックなど災害対策はまだ不十分
- いままで起きた災害から学んでいくことが必要
- 新しい災害への対策も必要
- 「公助」「共助」防災対策以外に「自助」について考えることも大切



6 多様な財源の確保と人材育成

資金調達の充実　人材育成

- 同じような視点やバックグラウンドの人ばかり集まっての意見交換では考えに広がりがなく、組織も形骸化、マンネリ化しがちである
  意思決定も偏った内容になりがち
- 多様な人たちとの関わりは、様々な資金調達を実現するために幅広く人を巻き込むことで、活動を社会に周知、協力への機会となる
- 資金調達に関する知識を高め、人材の育成をする

7 ダイバーシティ＆インクルージョン(D&I)の取り組み

性別、年齢、地域、国籍、疾病、障がいの有無、職種、経済状況等

- 団体がバランスよく、多様な人で構成されていない
- 判断は多様な人の意見を取り入れ決定されたい
- 内面や外面の違いを認め、活かす
- 社会の変化に柔軟に対応した団体の活動への見直し
- 役員比率、設備の工夫（トイレ、更衣室、段差など）
- 新しい視点取り入れる
- 事業の実現

今回のワークショップで目指すこと

1．現在、何が課題かを洗い出し、それを共有する。

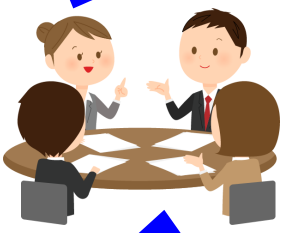
2．自分たちの団体の１０年後の「ありたい姿」の実現のために、
どのような考え方や行動が必要なのか共有する。

3．ワークショップ終了後、各団体に持ち帰り、持続可能なヘルスケア関連
団体の活動には何を変えなければいけないのか。
具体的に考え、目標を立てる。

分科会の進め方

ワークショップとは・・・

多様なメンバーの
主体的な参加



各々の体験
を持ちよる

相互作用

新たな発見や
予想もしない何かを
生み出すことができる

一人では得られない
気づきを獲得する

全員で大きな学びを培う

分科会の進め方

■進行役

各グループには、進行役とサポーターがいます。
話を促したり、参加者の意見をまとめる役割のほか、時間内に議論ができるように、時間管理を行っています。

グループ	進行役	サポーター
1	小岩井	伊藤
2	岩本	長廣、堀川
3	石原	大曲
4	吉田	上田（幸）
5	田港	林
6	三原	仲根
7	照喜名	島田

分科会の進め方

■オンライングランドルールの確認

■自己紹介

お名前と団体名のみをご発言ください。

＊詳しくは、事前配布の自己紹介シートを参照してください。

■目標について話し合う　（「７つの目標」資料参照）

目標にあげた背景と課題の共有をして共通認識とする。

１．現状：どう考えているか

２．課題：問題点と解決策（どのような活動が必要なのか）

分科会の進め方
～午後の部（80分）～

■目標について話し合う　（午前からの続き）

３．10年後の実現可能な**VHO-netの目標**をまとめる

＊具体的な目標（数値など）をたてる

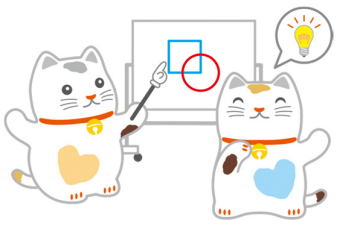
＊自分たちの団体に持ち帰って、団体の目標を再設定できるようにする。

■発表資料を作成する

パワーポイント3枚程度

14：30まで（時間厳守！）

※簡単にまとめましょう。



分科会発表と意見交換
～発表（30分）・ 意見交換（30分）～

■発表時間 1グループ 3分

質問は**「全員宛て」にチャットに入力**、または、
意見交換の時間に、**挙手・発言して司会者の指名うける**

■意見交換

他のグループへの質問や、あらためて気づいたことなど、
チャットなどを利用して発信してください。

＊時間の関係上、すべての質疑に対応できない場合があります。

Let’s enjoy
ワークショップ！！